

産業建設常任委員会審査日程

日 時 令和3年2月8日（月）
午前10時～
場 所 第2委員会室

審査内容

- 1 オートレース場のスタンド改修について

令和3年2月8日 産業建設常任委員会提出資料

1. 本場における入場者数及び売上の減少
2. インターネット投票の増加による売上構成比の変化
3. G I スピード王決定戦における入場者数と売上の比較
4. 最大入場者数と収容可能人員の見直し
5. 東スタンド棟の設計変更について
6. 設計変更の方向性
7. スタンド棟等整備事業全体概略工程（案）

公営競技事務所

本場における入場者数及び売上の減少

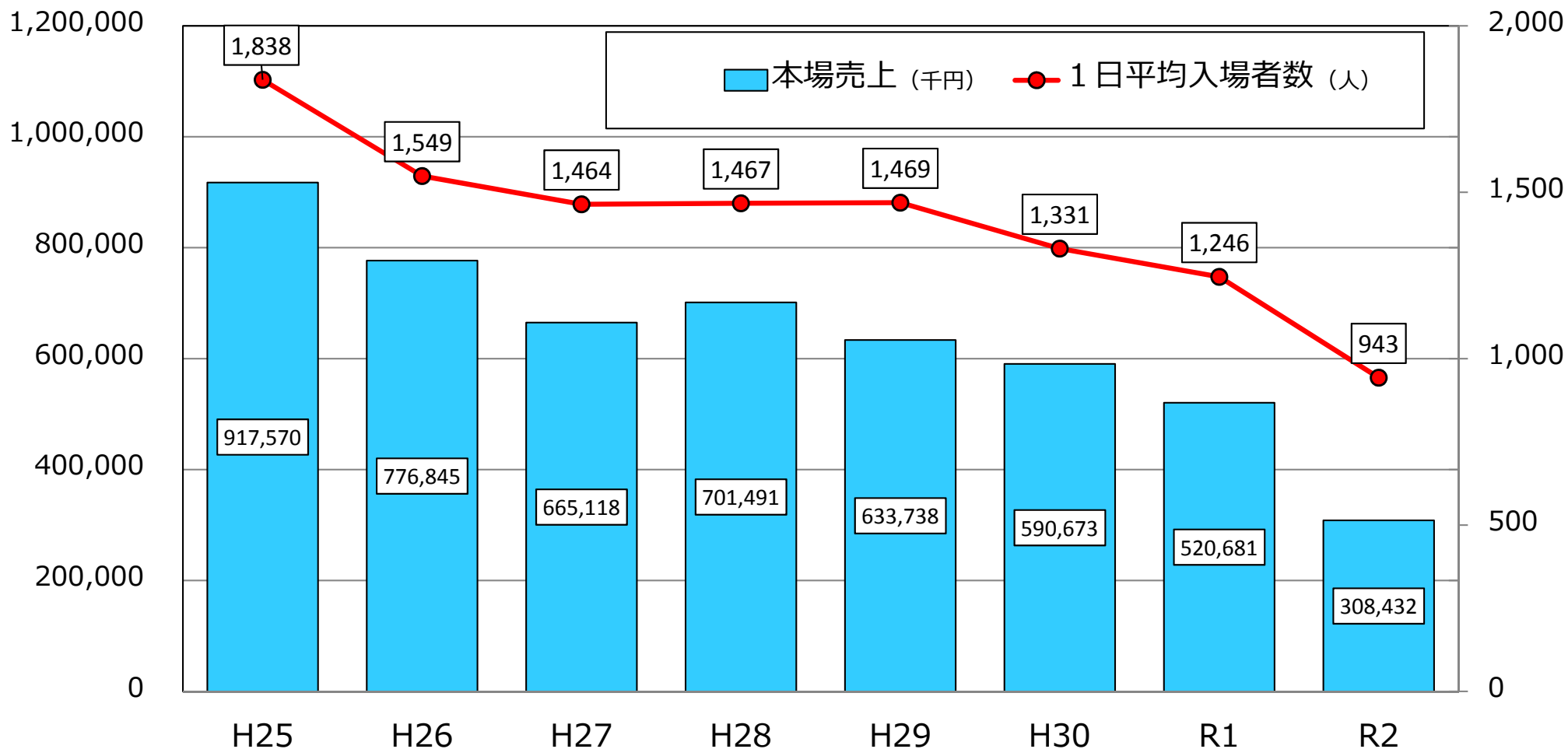
資料 1

- ① 近年山陽本場における1日平均入場者数は減少傾向にある。
- ② 令和2年度は、前年度比24.4%減と大幅に減少し、本場売上も同様に減少している。

単位：千円

本場売上、入場者数の推移

単位：人



(ミッドナイトの前売発売金額を含まない。)

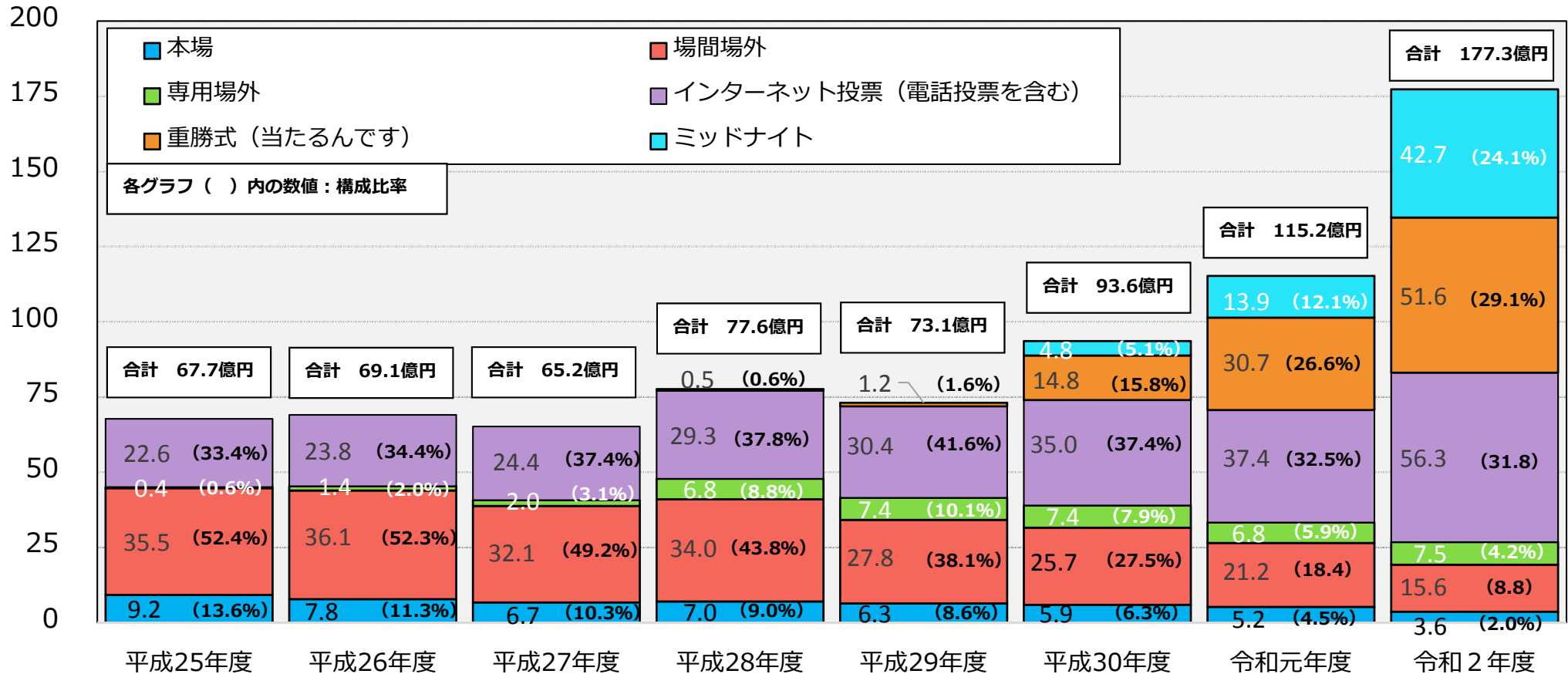
※R2の数値はR2.12月末時点の実績

インターネット投票の増加による売上構成比の変化

- ① 通常開催については、インターネット投票の売上が大幅に増加している。
- ② 平成28年度に開始した重勝式及び令和元年度から本格開催したミッドナイトレースにおける売上も大幅に増加している。
- ③ 令和2年度総売上見込みにおいて、インターネット投票は8割を超える見込みである。

単位：億円

販路別売上の推移



※R2の数値は現計予算額

GIスピード王決定戦における入場者数と売上の比較

- ① 令和元年度と令和2年度のGIスピード王決定戦は、日程・天候面等で同様の条件であったが、本場入場者数は22.5%減少している。
- ② 本場入場者数及び本場売上が減少する中、インターネット投票の伸びによって、売上は、前年度比7.5%増加している。

(1) 入場者数の比較

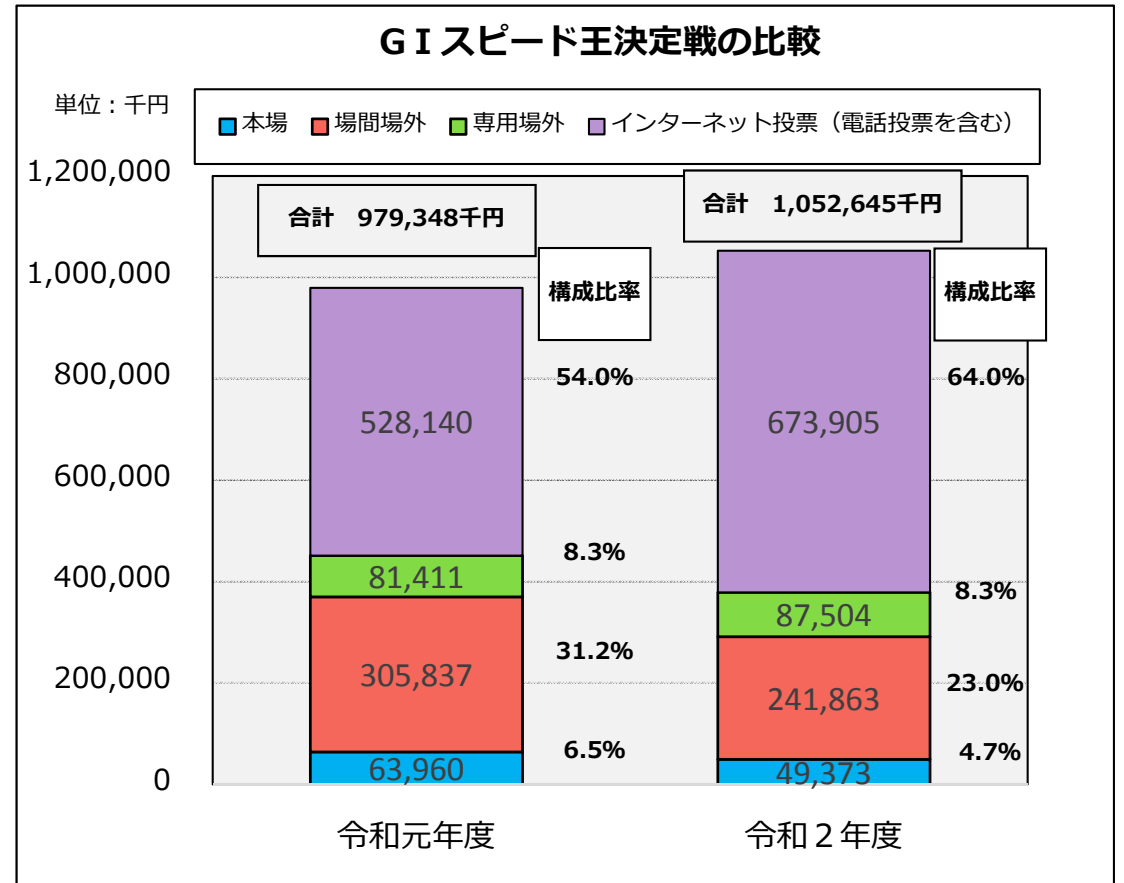
令和元年度 GIスピード王決定戦						単位：人
日程	12/18 (水)	12/19 (木)	12/20 (金)	12/21 (土)	12/22 (日)	合計
天候	小雨	晴	晴	曇	雨	
入場者数	1,064	965	955	1,714	2,024	6,722

令和2年度 GIスピード王決定戦						単位：人
日程	12/16 (水)	12/17 (木)	12/18 (金)	12/19 (土)	12/20 (日)	合計
天候	小雪	晴	晴	晴	曇	
入場者数	640	674	701	1,300	1,893	5,208

R2-R1	▲424	▲291	▲254	▲414	▲131	▲1,514
-------	------	------	------	------	------	--------

▲22.5%

(2) 売上構成比別の比較



最大入場者数の推移と収容可能人員の見直し

- ① 当初収容人数については、**食フェス開催時の最大入場者数**を考慮して算定していた。
- ② インターネット投票への移行が進む中、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響も受け、最大入場者数は前年度比36.5%減少している。
- ③ 現状、新設検討中の東スタンド以外の施設で、既に最大入場者数を上回る人数の収容が可能である。
- ④ 他方で、**審判室などの開催本部機能**は、必要不可欠な施設であり、公正かつ安全なレース運営のため、**全体を俯瞰できる位置になければならない**。
- ⑤ したがって、新設検討中の東スタンドについては、当該開催本部機能を確保できる必要最低限の面積を精査し、観覧エリアも見直すことで、**施設規模を縮小**したい。

(1) 最大入場者数の推移

年度	最大入場者数 (人)
H25	3,559
H26	2,604
H27	3,492
H28	2,846
H29	4,564
H30	3,768
R1	2,980
R2	1,893

※H29～R1の最大入場者数は食フェス開催時のもの。

(2) 既存施設等の収容可能人員

施設名	基本設計当初 (人)	変更案 (人)
東スタンド	1,355	638
西スタンド	1,810	1,810
ハイビジョンホール	700	700
合計	3,865	3,148

※ハイビジョンホールは、既存施設のまま。

東スタンド棟の設計変更について

<設計変更が必要となった理由>

- ①インターネット投票への移行が急速に進んでいたところに新型コロナウイルス感染症の影響が加わり本場開催への来場者数が激減しており、施設の収容人員の見直しが必要となった。
- ②新型コロナウイルス感染症対策として、換気改善等、施設構造の見直しが必要となった。
- ③スタンド棟以外の施設の長寿命化も必要ななか、できるだけ工事費を抑える必要がある。

●東スタンド棟の設計変更前後の比較

	基本設計 (R2年3月)	変更案 (概要) (R3.1月末現在)	増減
床面積 (㎡)			
4階	58	58	0
3階	461	461	0
2階	717	512	▲ 205
1階屋外観覧席	0	211	211
1階	755	186	▲ 569
合計	1,991	1,428	▲ 563
観客収容人員 (人)			
2階立ち見	520	377	▲ 143
2階席	147	105	▲ 42
1階屋外観覧席	0	156	156
1階立ち見	520	0	▲ 520
1階席	168	0	▲ 168
計	1,355	638	▲ 717
①概算工事費 (税込、本体工事のみ)			
	1,220,000千円	1,220,000-a千円	▲a千円

※aは規模縮小による減額分

②概算ランニングコスト (20年比較)			
光熱水費	240,000千円 (12,000千円×20年)	144,000千円 (7,200千円×20年)	▲96,000千円
毎年修繕費 (10～19年目)	20,000千円 (2,000千円×10年)	14,000千円 (1,400千円×10年)	▲6,000千円
大規模修繕費 (20年目)	100,000千円	70,000千円	▲30,000千円
合計	360,000千円	228,000千円	▲132,000千円
合計 ①+②			
	1,580,000千円	(1,448,000-a) 千円	▲ (a+132,000) 千円

